

文部科学 大臣表彰

(優良PTA)

鳥栖工業高等学校PTA

PTA役員との連携強化による相互理解が進んでいる。学校行事と連携したPTAの教育支援が充実している。生徒の安全確保のために、PTAによる街頭指導を長年行っている。

地区保護者会(全17地区)を実施し、学校と保護者との連携強化を実施している。

文化祭にPTAが主催した模擬店を出し、生徒・職員との交流を深めている。

恒例の校内ロードレースで、中間地点の水分補給や到着後の豚汁提供を行っている。生徒の応援や支援を行っている。



この表彰はその趣旨に、「PTAの本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を上げているPTAを表彰し、PTAの健全な育成、発展に資することを目的とする」とうたってあり、組織運営及び活動について設けてある表彰基準をクリアすることが求められている。

本県では近年、三養基高校、金立特別支援学校、嬉野高校、高志館高校が受賞している。



伊万里高等学校後援会

前会長 久我 剛毅氏
多年にわたり本校後援会の発展に尽力された。

行事等の挨拶では、示唆に富んだ話を優しい語り口で語られ、生徒を激励していただいた。後援会活動全般にわたり、素晴らしいリーダーシップを発揮され、保護者の積極的な活動参加を促す働きかけをしていただいた。



白石高等学校PTA

前会長 西 昭文氏
会長として、PTAバザー活動を始められ、収益金を図書館への寄贈本にあてられた。

昨年度は、杵西地区連絡協議会会長として、ご尽力いただいた。学校行事や会議の場では、機知に富んだ心に残る話をされ、生徒やPTA会員の方に多くの示唆を与えていただいた。



有田工業高等学校保護者後援会

前会長 久保田雅敏氏
7年の長きに亘り会長、副会長の任を全うしていただいた。役員任期中、有田恒例の30kmマラソンで生徒と一緒に走り、挫けそうになった生徒たちを奮い立たせる姿を見せ、完走された。

また、母親委員会を中心に「母ちゃんのおすすめレシピ」を制作・発行し、卒業後、一人暮らしをする生徒の食生活を守るための贈り物とした。



佐賀女子高等学校後援会

前会長 上田 雄一氏
平成24年4月より平成27年3月まで、佐賀女子高等学校後援会会長及び佐賀県高等学校PTA連合会副会長、理事としてご尽力された。その間、佐高P連佐城地区の会長職も歴任された。また、佐賀県私学保護者会連絡協議会の会長として常にご尽力を賜り、その業務を遂行された。

受賞者の横顔

唐津青翔高等学校教育振興会



学校行事の際などに、常に生徒の活動を見守り支える存在である。年間3回の「朝の挨拶運動」の他、2月に行われる恒例の駅伝ロードレース大会時に、全校生徒に豚汁を炊き出す「豚汁会」を行うなど、年間を通して積極的に取り組んでいる。

武雄高等学校PTA

平成24年度から、文化祭でPTAによるドーナツ販売、体育祭では飲み物の販売が行われるようになった。

2学期のクラスマッチでは生徒全員に「豚汁のふるまい」が行われ、多くの保護者がPTA活動に参加できるよう計画されている。

優秀単P

唐津青翔高校 大和特別支援学校

役員等表彰

小出 邦彦氏

功労者

久我 剛毅氏 西 昭文氏

全高P連表彰



佐賀県高等学校PTA連合会

前会長 小出 邦彦氏
平成19年6月より平成27年6月までの8年間にわたり、県連会長として九高P連及び県高P連



親子レク活動

大和特別支援学校PTA

フォーラム参加や講演会等の研修、懇親会や親睦会、親子レクを企画・実施するとともに、PTA便りやホームページでの情報発信に取り組んでいる。

特に、児童生徒の理解・支援のための啓発活動としてボランティア養成講座を開き、12年目になるが、本講座を修了した受講生は、延べ600名以上となり地域で活躍している。



豚汁のふるまい

弘学館高等学校PTA

当後援会は、学校の教育事業を後援することを第一目的とし、会長様他会員の方々が何事にも協力して取り組み、毎年バザーを実施して、その収益金で芸術鑑賞会を開催する等種々の成果を上げられた。



後援会委員会の様子

佐賀県高P連表彰

(敬称略)

功労者表彰

三養基	大坪 常人
伊万里	久我 剛毅
武雄	原田 耕三郎
白石	西 昭文
佐賀	石橋 純子
鳥栖	松隈 剛
佐賀	廣瀬 篤
唐津	西 明久
有田	久保田 雅敏
鹿島	釘尾 正幸
神埼	佐藤 知美
嬉野	太田 和章
大和	川副 李恵
唐津	石倉 映奈
佐賀	上田 雄一
北陵	高塚 英樹
東明	二又 清

感謝状贈呈

佐賀	小出 邦彦
鳥栖	松隈 剛
白石	西 昭文
太良	木原 秀憲
佐賀	井上 常茂
佐賀	上田 雄一
唐津	古藤 良子
佐賀	平山 又一
佐賀	辻 裕一
鳥栖	中原 正幸
唐津	副島 一春
白西	蒲原 正憲
太良	山口 孝
東明	二又 清
唐津	前野 亮一
敬連	中島 幸浩
顧問	宮本 幸治

守るこつ交通ルール

高めよう交通マナー

秋の交通安全県民運動

9月21日(月)～9月30日(水)

東高周辺の河川清掃ボランティア

佐賀東高等学校

佐賀東高校は部活動プラス、ボランティアにも力を入れていきます。毎年佐賀市で開催されるさが桜マラソンでは、給水所で飲料水の配布や水掛けを行ってランナーたちのサポートをしたり、東高の周辺の北川副校区の夏祭りや冬祭りのやぐら組みを手伝ったり、他にも各方面で活動しています。今回は河川清掃のボランティアについて紹介し



ます。

本校周辺はクリークが多く、毎年春秋2回行われるクリークの清掃活動を地区の住民の方々とともに長年行っています。そのことが認められ、昨年3月に



は佐賀県庁にて「佐賀市水対策市民会議」様より感謝状を送られ表彰していただきました。

参加した生徒たちは、住民の方々と一緒に泥だらけになりながら一生懸命きれいになるように清掃を行いました。また生徒たちが清掃を行っている時、地域の方々に「東高生のボランティアを頼りにしている」、「手伝ってもらってとても助かってい



る」と声をかけていただき、「地域の人たちの役に立ててとても嬉しかった」、「きれいになったクリークを見て参加して良かった」、「またこれからも参加したい」と話しています。
この取り組みを本校の良き伝統として今後も引き続き行っていきたいと考えています。



夢の実現に向けて

東明館高等学校

ノーベル物理学賞受賞 益川敏英先生 講演会

キャリアガイダンスの一環として、5月に講演会を開催しました。益川先生は「若い人には時間が無限大にある。何でもいから、何かをやれば発見できる」と、夢を持ち、まず始めてみることを大切さをお話しになりました。



講演の後のパネルディスカッションでは益川先生との意見交換を通して夢を追うこと、継続して

取り組むことの意義について学びました。

SGH(スーパーグローバルハイスクール)の取り組み

今年度、本校は「SGHアソシエイト校」に文部科学省より認定されました。現在、1年生は大学の研究者や企業、国際機関などの関係者の方からキャリアガイダンスを受け、様々な専門的知識を習得しています。また、グループ毎にテーマを持ち、課題研究に取り組んでいます。海外研修など異文化交流も行い、



放送部 NHK杯に23回連続出場

7月のNHK杯(第62回NHK杯全国高校放送コンテスト)に本校より3年生4名が出場しました。アナウンス部門1名、朗読部門3名全員が準決勝に進出。2名は決勝まで残り、優良賞を受賞するなど練習の成果を十分に発揮しました。



頑張ってるわ!! 輝いてるわ!!

シリーズ No21



地域の方々と花ボラの活動

本校はいよいよ来年度、創立90年を迎えます。平成5年に制定された「大志」錬磨「創造」の校訓の下、生徒たちは勉学に部活動に精一杯取り組んでいます。

毎年の取組みの中でも、各学科の学習活動の成果を披露する「鹿実フェア」やPTAと鹿島

幅広い知識と豊かな人間性の育成を目指す

鹿島実業高等学校

市と生徒が一体となって行う「まちなか花いっぱい運動」(通称「花ボラ」)などは、特に本校独自の年中行事として定着しています。

更に特徴的な行事は、今年で4年目になる上海の高校との交流行事です。お互いの地を訪れる交流で、文化の違いや共通



鹿実フェアでの販売実習



上海から訪れた生徒に浴衣をプレゼント



上海での調理実習交流

点など、様々なことを学び合っています。今年の11月にも、本校生徒が、上海を訪れることになっています。

全国高等学校PTA連合会大会 平成30年度に佐賀県での開催が決定

平成27年6月、全高P連の定時総会が東京ガーデンパレスで開催されました。その会議の中で、平成30年度には全高P連の大会が佐賀県で開催されること

が正式に決定しました。この全国大会は、今年度が岩手県、平成28年度は千葉県、29年度は静岡県で開催され、その翌年は佐賀県での開催となります。

この大会には全国各地から約1万人の会員の方が集まってこられます。これから3年後の全国大会に向けて準備を進めていくこととなりますが、本県では対応せざるを得ません。

現時点では大会の日程を、平成30年8月19日(日)〜21日(火)で計画を進めています。

8月19日の前日会議と歓迎レセプションについてはホテルニューオータニ佐賀で、そして翌日の開会行事は、メイン会場を「佐賀県総合体育館」とし、そこから

- ・佐賀市文化会館
 - ・嬉野市体育館
 - ・鳥栖市民文化会館
 - ・唐津市文化体育館
 - ・諸富文化体育館
- の5会場に映像配信する形での開催を考えています。
午後からの分科会については、

- ・全国高P連研究発表
 - ・学校教育とPTA
 - ・進路指導とPTA
 - ・生徒指導とPTA
 - ・家庭教育とPTA
 - ・特別第1分科会
 - ・特別第2分科会
- の7つの分科会をそれぞれの会場で実施することになります。
本県高P連は大きく5地区(三神、佐城、唐松、杵西、鹿藤)に分かれていますので、各地区において、それぞれの会場での大会運営をお願いすることになると思います。

この秋には、代表者による会議等を開催し、大会に向けた準備に入りたいと考えています。佐賀大会を成功させるため、各学校におかれましても会長さん、校長先生を中心としてご協力、ご支援をお願いいたします。

全国高P連大会

岩手大会(8月19、21日)

139名が参加!

未来圏からの風をつかめ! 新時代を担う君たちと共に!

第65回全高P連岩手大会は、8月20日、全国各地から9千5百余名の会員を集め、岩手産業文化センター(アピオ)をメイン会場とし、サブ会場の盛岡市アイスアリーナへ映像配信するという全体会で開幕。岩手県の高中生によるアトラクションの



後、一般社団法人全国高等学校PTA連合会佐野元彦会長の式辞、文部科学大臣下村博文氏による来賓の祝辞、渡辺正和大会実行委員長による開会の挨拶があり、表彰式と続いた。表彰式では本県から、優良PTA文部科学大臣表彰を鳥栖工業高等学校PTAが受賞された。続いて行われた全国大会会長表彰の優秀単P表彰では、唐津青翔高等学校教育振興会と、大和特別支援学校PTAが、功労者表彰では、伊万里高等学校後援会前会長の久我剛毅氏と、白石高等学校PTA前会長の西昭文氏が受賞された。また、役員等表彰では、県高P連前会長の小

出那彦氏が受賞された。その後、「夢高くして足地にあり The sky is the limit」という演題で、盛岡市出身で芝浦工業大学学長の村上雅人氏による「基調講演」があった。「教育で人も国も変わる」、「若者が夢と希望を持ち、志をもつことが一番大切である」などと語られたのが印象的であった。その後、午後からは各会場に分かれて分科



会が行われた。

大会2日目の8月21日、岩手産業文化センターと盛岡市アイスアリーナにおいて高校生によるアトラクションの後、「アドリブを生きる力」という演題で、同じく盛岡市出身の映画監督、大友啓史氏による「記念講演」があった。最後に閉会式が行われ、大会宣言の採択、来年度の開催県である千葉県への大会旗の引き継ぎが行われた。

この岩手大会には、本県から139名の参加があった。

九州地区高P連大会

やるばいよかばい 長崎大会(6月18・19日)



第1分科会
「子どもたちのために今、できること！」
 ～PTAは子どもたちの励まし隊～
 佐賀県立鳥栖工業高等学校PTA
 会長 木原 秀樹



学校の概要・特色

本校は佐賀県の鳥栖市にあり、昭和14年、佐賀県立鳥栖工業学校として創立されました。昭和27年に定時制が併設され、これまでの卒業生は2万1千人を超

えています。生徒数は691名、1学年は、機械科2クラス、電気科、電子機械科、土木科、建築科の6クラスから構成されています。「夢実現」の目標の下、



広い視野と豊かな創造力を持ち、個性豊かで、社会に貢献できる工業技術人の育成を目指しています。

部活動の状況

本校は部活動や学校行事にも力を入れており、大変活発に活動しています。現在、15の運動部、10の文化部、1つの同好会があり、部活動加入率は96%です。本校は工業高校であるため、文化部の中には6つの工業専門の部活動があり、特に測量部、建築部、溶接部などは各大会で好成績を残しています。運動部ではレスリング部、駅伝部をはじめ、全国、また世界を舞台に活躍しています。今後、ますますPTAが子どもたちに総合的な応援ができるよう、さまざまな取り組みを計画しているところです。

近年の進路状況

本校は大多数が就職を希望し、就職率は毎年100%となっています。職種は製造関係が中心で、関東、中京、関西地区へ就職する生徒も多く、卒業生は全国で活躍しています。昨年度は就職は公務員2名を含めて85%でした。大学、短大、専修・各

種学校は15%となっています。PTA活動の概要

PTA組織(17地区から生徒数に合わせて選出)60名、本校ではPTA組織を部門別に分けず、各学校行事に全員で取り組むようにしています。

1学期は第1回地区保護者会、PTA総会・授業参観、九州高等学校PTA連合大会、全国高等学校PTA連合大会等が主なものです。2学期は、各地区で班分けをし、始業式の登校時から当番職員と共に朝の街頭指導を行います。10月初めには、PTA役員研修が毎年計画され、昨年は隣の県の福岡県立福岡工業高等学校への学校訪問、午後は地下鉄七隈線橋本車両基地の見学に行きました。また、文化祭では毎年、PTAで焼き鳥・唐揚げバザーを実施してい



文化祭バザーの様子

ます。11月には第2回地区保護者会等を開催します。3学期には全校ロードレースが1月の後半に行われますが、PTAでは毎年、6つの回転釜で豚汁を作り、生徒達に振る舞っています。2月20日にはその年のPTA役員が持ち寄った各行事における原稿を編集し、PTA会報を発行しています。

保護者の意識を高めるPTA活動

本校では生徒の進路に対しての意識を高めるために、毎年10月に、工業科科長や校長と共に県外の工業高校訪問と企業見学を行っています。一昨年は熊本県立熊本工業高校と昭和アルミニウム(株)大牟田工場、昨年は福岡県立福岡工業高校と福岡市地下鉄七隈線橋本車両基地にお邪魔しました。毎年、希望者30名



PTA役員研修会

近くが参加します。本校とは違う学校を見学し、見学校に感心させられたり、本校の良さを改めて実感したりしました。また企業訪問では、訪問先の企業理念や働いている方たちの姿を見て、自分たちの子どもの将来に重ね合わせてみたりもしました。子どもたちはほとんどが高校卒業後、実社会に飛び込んでいきます。保護者もこのような機会をとらえて子どもの進路について意識したPTA活動に取り組みたいと思っています。

本校では地区別の保護者会を年2回実施しています。他校では年1回の実施がほとんどのようですが、保護者と学校、保護者同士の連携を図り、いろいろな相談をする機会として活用しています。また、参加出来ない場合の事前の校内での保護者会やその後の欠席保護者会なども行われています。

10月の文化祭でPTA役員の仕事が、バザーで唐揚げや焼き鳥を振る舞ったり、1月のロードレース大会で豚汁を振る舞ったりと、子どもたちと直接触れ合う機会を設けており、年



豚汁の活動



お知らせ

九高P連大会「大分大会」
 期日 平成28年6月16日(木)・17日(金)
 会場 ビーコンプラザ他

全高P連大会「千葉大会」
 期日 平成28年8月24日(水)・26日(金)
 会場 幕張イベントホール他